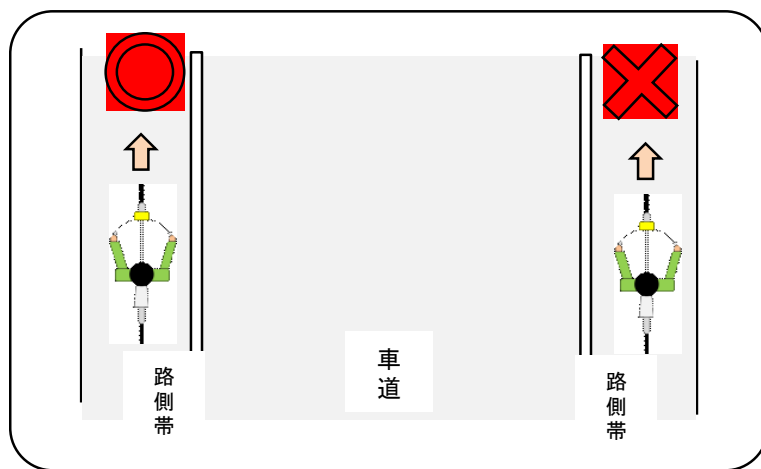


交通安全講話



[改正道路交通法 平成25年12月1日施行]

交通安全教育報告書

取組名	交通講話	分類	交通安全講話
取組の特徴	杵築日出警察署と連携した交通講話と単車通学生講話		
学校名	大分県立杵築高等学校		
取組の概要			
<p>1 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交通マナーは、自己の安全のみならず他者の安心・安全につながることを理解させ、自己管理能力と他者への配慮を身につける。 ○正しい自転車・単車の乗り方を理解し、交通マナーが日常的に実行できるようになる。 <p>2 日時</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成25年 5月10日(金) 15:25～16:30 <p>3 場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大分県立杵築高等学校 体育館 <p>4 講師</p> <ul style="list-style-type: none"> ○杵築日出警察署 交通課長 佐藤 修 警部 <p>5 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校長あいさつ・講師紹介 ○交通講話・映写会(40分) <ul style="list-style-type: none"> ※ 対象 … 全校生徒(715名) ○単車通学生講話(20分) <ul style="list-style-type: none"> ※ 対象 … 単車通学生(54名) <p>6 効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高校生の自転車事故のDVDにより、自転車事故を起こしたときの責任や賠償について学べ、交通安全の意識が高まった。 ○道路交通法を学習し、多くの行為が法律違反であることを知ることによって、規範意識が高まった。 ○原付バイクの危険性を学習でき、慎重にバイクを運転するようになった。 ○原付バイクの性能を知ることによって、安全運転を心がけるようになった。 ○昨年度より事故・違反件数は大きく減少している。 			

交通安全教育報告書

取組名	交通講話	分類	交通安全講話
取組の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車事故による加害者になったときの保険金についても言及した ・警察官に来てもらい、事故にあった後の処理についても話した 		
学校名	大分県立別府鶴見丘高等学校		

取組の概要

1. 日時 12月18日(水) 15:30～16:20

2. ねらい

- 今年度に入り、自転車事故や交通事故が多発しているため、再度交通安全意識の向上を図る。
- 交通事故を起こしたり、遭ったりしたときの、事後処理を理解し、行動できるようにする。
- 自転車事故で加害者になったときの、保険について理解する。

3. 内容

- ビデオ「自転車事故の恐ろしさ」の上映20分
- 実際の事故を基にして、賠償金について理解する内容
- 警察官による講演「改正道路交通法及びもし事故に遭ったら」25分
- 改正道路交通法と事故にあった際の処理について話してもらう。

4. 効果

- 生徒にとって、高額賠償金のことは新鮮で、気持ちを入れ替えて自転車に乗るといふ言葉が聴かれた。



交通安全教育報告書

取組名	交通講話	分類	交通安全講話
取組の特徴	市内警察署の交通安全課職員による交通講話		
学校名	大分県立別府青山高等学校		
取組の概要			
1	<p>日時</p> <p>○年に1回（9月）実施 ○実施時間は、50分</p>		
2	<p>ねらい</p> <p>専門家による交通安全についての話を聞くことにより、より安全への意識を高める。</p>		
3	<p>活動内容</p> <p>市内警察署の交通安全課職員による交通講話 今回は「自転車による交通事故はこうして起こる」が主題だった。</p>		
4	<p>効果</p> <p>普段は、校内の職員から交通安全マナー指導を受けているが、専門家による講話、指導は生徒の強い意識向上につながった。</p>		

交通安全教育報告書

取組名	2・3年生交通安全講話	分類	交通安全講話
取組の特徴	自転車通学をする2・3年生を対象の早急な交通安全啓発		
学校名	大分県立大分舞鶴高等学校		
取組の概要			
1 目的	<p>今年度も、本校自転車通学生の交通事故が多発している。運転技術の未熟、危険予測し回避する力の不足、心の焦り等が起因していると考えられる。また、地域住民から自転車の交通マナーに関する苦情が寄せられている。</p> <p>こうした状況のもと、生徒の交通ルール・マナーの遵守を図り、交通安全の意識をさらに高め、登下校を含めた日常生活全てにわたり、交通事故を起こさず、遭わない、心構えを醸成する。</p>		
2 対象	2・3年生徒、教職員		
3 期日	平成25年 6月14日(金) 7限 (15:15～16:05)		
4 場所	本校体育館		
5 講師	<p>(交通安全教育講師派遣事業により依頼)</p> <p>早水 琢也 氏 交通安全関係業務従事年数25年 絆総合株式会社 (生命保険・損害保険 代理店) NPO 法人 全九州ヘルプネット会員</p>		
6 講演内容	<p>「自転車安全利用五則，危険予測・回避について」</p> <p>終了後、感想文</p>		
7 生徒配布物	<p>①めじろん反射キーホルダー</p> <p>②自転車安全利用五則(チラシ)</p>		

交通安全教育報告書

取組名	自転車事故の防止及び事故後の対応について	分類	交通安全講話
取組の特徴	保険の専門家を活用した交通安全教育		
学校名	大分県立大分西高等学校		

取組の概要

1 目的 本校は、平成20年度から平成21年度までの2年間にわたる「大分市自転車マナーアップ事業」モデル校の経験を生かし、安全指導やツーロックの徹底等の取り組みにより、交通安全意識の向上を図ってきた。

 しかし、昨年度は、自転車事故が9件報告され、事故後の対応にも不備がある。このような現状を踏まえ、事故防止対策、事故後の対応、交通マナーについての基本的な知識を習得させ、交通安全指導の充実を図り、違反や事故の減少を目指す。

2 日時 平成25年5月7日（火）7限 HRA（14:30～15:15）

3 会場 本校体育館

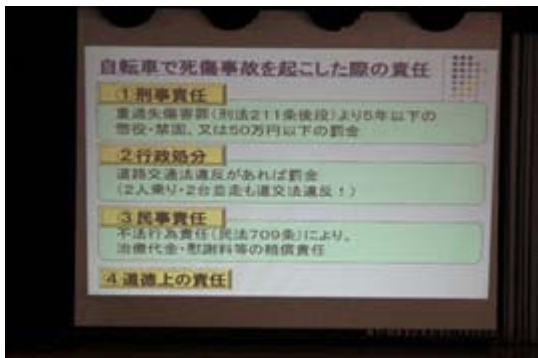
4 対象者 2・3年次生及び教職員 256名

- 5 次第**
- (1) 開会
 - (2) 講師紹介
 - (3) 講話
 - (4) 謝辞
 - (5) 閉会



会場の様子

6 講師 山崎 裕司 氏
 NPO法人全九州ヘルプネット大分県副幹事
 東京海上日動代理店 代表取締役
 大分県交通安全教育講師



パワーポイントで説明



自転車通学生の学校付近の通学路・通学方法

交通安全教育報告書

取組名	交通講話	分類	交通安全講話
取組の特徴	年度初めの早い時期に、交通安全に対する意識を高める		
学校名	大分県立由布高等学校		
取組の概要			
<p>1 日時</p> <p>○平成25年 5月10日 金曜日</p> <p>○実施時間 14:05～14:55</p> <p>○参加者 全校生徒 388名 教職員 48名</p> <p>2 ねらい</p> <p>交通講話をとおして、歩行者および自転車・二輪車のルールやマナーを再認識させ、交通安全に対する意識の高揚を図り、事故の撲滅を目指す。</p> <p>3 活動内容</p> <p>○講師：大分南警察署 交通課 武津 秀樹 企画・規制・免許係長</p> <p>○講話：40分間</p> <p>警察官の立場から、事故の原因と事故のつながりを講話し、事故にあった時の対応の仕方を説明。</p> <p>4 効果</p> <p>「交通安全に対する意識」・「交通事故防止に対する知識」を高め、「命の大切さ」・「交通安全」を意識した生活ができるようになった。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	交通安全講話	分類	交通安全講話
取組の特徴	学校周辺地域の現在の課題に焦点を当てての講話を実施		
学校名	大分県立森高等学校		
取組の概要			
1	<p>ねらい</p> <p>生徒の交通安全に対する意識の高揚と交通マナーを身につける。 地域の交通事情を理解して、自分の身は自分で守る意識を持つ。</p>		
2	<p>実施日時</p> <p>6月14日（金） 7限</p>		
3	<p>実施方法</p> <p>年度の早い段階で、交通安全への意識づけを行うために、授業時間を1時間使って、全校生徒を対象とした、交通安全講話を実施する。 実施に当たっては、地域の警察交通課と連携して、現在の地域での課題について打ち合わせ、その課題に合わせての講話内容を検討してもらう。</p>		
4	<p>効果</p> <p>本年度は、自転車の安全利用に焦点を当てた講話内容となった。DVDの映像と合わせて、自転車利用のルール、マナー、事故に遭わない・起こさないためには自分の意識や行動が重要であるということが学習できた。</p>		

交通安全教育報告書

取組名	バイク・自転車の安全運転推進	分類	交通安全講話
取組の特徴	警察によるバイク・自転車の安全運転についての講話		
学校名	大分県立日田高等学校		
取組の概要			
1	日時 平成25年11月20日(水) 6限		
2	対象 本校全生徒		
3	ねらい ○本校生徒のうち多数を占める自転車通学生、またバイク通学生に対して、実際に様々な取り締まりや事故現場を経験している警察関係者からの具体的な事例を紹介しながらの話聞くことで交通安全への意識を高めさせる。 ○12月から施行される、改正道路交通法についての説明を通して、自転車の左側通行を徹底させる。		
4	効果 DVDの使用や実際の事故例、加害者になったときの賠償額、取り締まり例などを紹介しながらの講話で、生徒には理解しやすい内容であった。実際に自転車やバイクで事故に遭いそうになったり、軽傷であったが怪我をした生徒もあり、交通安全に対する意識は高まったようである。		

交通安全教育報告書

取組名	警察官を講師に交通安全マナーを学ぶ	分類	交通安全講話
取組の特徴	全校生徒を対象にして DVD を観ながら自転車の安全運転を学ぶ		
学校名	大分県立日田高等学校定時制		
取組の概要			
<p>1 日時 平成25年5月22日（水） 18:20～19:20</p> <p>2 場所 日田高校全日制会議室</p> <p>3. 内容 本校の生徒は自転車通学が多いので自転車を中心としたマナー教育を日田警察署の交通課の警官にお願いした。最近の問題点として携帯を使用しながらの自転車運転がある。 世間でも歩行者にぶつかって自転車の運転側が加害者となるケースが多いようなので DVD で事故の事例を観ながら携帯電話を使用しながらの自転車運転の危険性を話してもらった。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	登下校のマナーアップ	分類	交通安全講話
取組の特徴	交通ルールを学ぶ		
学校名	大分県立日田林工高等学校		
取組の概要			
1	<p>日時 6月11日(火) 13:20～14:00</p>		
2	<p>講師 日田署交通課規制免許安全教育係長 細谷賢司 氏</p>		
3	<p>ねらい 交通法規を理解させ、安全な登下校をさせる。</p>		
4	<p>効果 アンケート結果を見ると、90%の生徒が役に立ったと回答しており、実際に日田でも自転車事故が起きていることを知り、今後の自転車通学のマナーアップや交通安全に関する意識の向上が図られた。</p>		

交通安全教育報告書

取組名	交通安全教室	分類	交通安全講話
取組の特徴	身近に起こる交通事故や命の大切さを知る		
学校名	大分県立中津東高等学校定時制		
取組の概要			
<p>1. 日時 年間3回の交通教室を通年で2回目を実施 実施日時 12月20日（金）午後6時～午後7時まで</p> <p>2. 目的 ①今年度、中津署管内や県内及び全国の交通事情・事故の概要等を知り、交通ルールを守ることの大切さを学ぶ。 ②12月より一部道路交通法の改正に伴い、軽車両の通行について正しい知識を学ぶ。 ③「命を守る」大切なことに繋がることを認識する。</p> <p>3. 内容 ①中津署交通課甲斐係長による交通事故の概要説明。 ②ドライブレコーダーの映像を視聴しての説明。 ③軽車両（特に自転車）の道路交通法改正の通行方法の説明。</p> <p>4. 効果 ドライブレコーダーの映像を見て、生徒自身が身につまされた感じを受けた。交通ルールを守ることが、命を守る大切なことであることが十分理解できたと思う。また、自転車事故による損害賠償額の膨大さなど、現実的な話が特に印象に残ったのではないと思う</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			

交通安全教育報告書

取組名	交通講話	分類	交通安全講話
取組の特徴	宇佐警察署の方による交通講話		
学校名	大分県立宇佐産業科学高等学校		
取組の概要			
1. 目的	自転車のルールやマナーについて、警察の方から専門的な話をしていただき、交通安全についての知識を深めるとともに意識を高める。		
2. 日時	平成25年11月13日(水) 14:30～15:20		
3. 場所	本校体育館		
4. 対象	全校生徒および職員		
5. 講師	大分県宇佐警察所 交通課 小幡 浩 氏		
6. 内容	<p>原動機付き自転車および自転車のルールやマナーについての講話</p> <p>原動機付き自転車の免許取得試験を生徒に実際解かせ、交通ルールなどに関する講義を行った。また、社会道徳やマナーに関する話を行った。</p>		

交通安全教育報告書

取組名	警察署職員による交通安全指導	分類	交通安全講話
取組の特徴	自転車などの交通安全ルールを守る意識を高める		
学校名	明豊高等学校		
取組の概要			
<p>1 ねらい</p> <p>(1) 安全な交通の方法を理解させ、交通事故防止を図る。</p> <p>(2) 交通社会は各自の責任において、ルールを守るという交通社会人相互の信頼関係の上に成り立っていることを再認識させる。また、自らが進んで交通ルールを守ろうとする態度を身に付けさせる。</p> <p>(3) ますます激化する交通社会の中で、生きる一人の人間として、命の尊さを深く認識させる。</p> <p>2 方法</p> <p>(1) 日時 平成25年5月23日(木) 11:55～12:45 場所 本校体育館</p> <p>(2) 対象 全校生徒(明豊中学、看護専攻科生を含む 計619名)</p> <p>(3) 講師 別府警察署 交通課職員</p> <p>3 主な講話の内容</p> <p>(1) 交通ルールは必ず守らなければならないものであり、他のルールと異なり、死に直結していることを認識させ、生命尊重、交通弱者保護、互譲互助精神に基づいて制定されていることに気付かせる。</p> <p>(2) 自転車の安全走行、違反、罰則など。</p> <p>4 効果</p> <p>講話の中で、道路交通標識の実物を見て、触れることによって、その標識の意味をより深く理解できた。また、交通ルールを互いに守ることによって、我々の命は守られることを認識することができた。</p>			

高等学校交通安全教育報告書

取組名	全校生徒を対象とした交通講話	分類	交通安全講話
取組の特徴	別府警察署交通安全課課長（当日は、代理出席。）をお招きし、全校生徒を対象に交通講話を行って頂いた		
学校名	別府溝部学園高等学校		
取組の概要			
<p>1 目的 別府警察署交通課による、交通事故の現状などをお話していただくことで、高校生としての知識を深め、規則正しい交通マナーを身につけることと、道路交通法の理解をさせることを目的とする。</p> <p>2 日時 平成25年11月12日（火）13:10～14:00</p> <p>3 対象 専攻科生徒を含む、全校生徒400名。3年生看護科は、看護実習のため不在。</p> <p>4 演題 「身近に起こる交通被害を回避するために」 別府警察署 課長 代理：渡邊警部補</p> <p>5 その他 交通安全協会、(株)本田技研工業のご協力の下、自転車シュミレーター体験を実施。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	自転車交通安全DVDによる交通安全意識高揚	分類	交通安全講話
取組の特徴	指導部による各学年集会を利用した交通安全教室		
学校名	楊志館高等学校		
取組の概要			
<p>1. ねらい 自転車交通安全DVD 4 を学年集会にて学年ごとに見せ、考えさせることによって交通安全意識の高揚を図る</p> <p>2. 方法 生徒指導部によるDVDを基にした講話の展開（マニュアルあり）</p> <p>3. 取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ DVD視聴する前とした後、生徒の考えを①視聴前の考え②この映像から一人ひとりの個別の状況に対する対策③視聴後の感想・事故防止法を一項目ずつあらかじめ用意している用紙に記入させる。その後、どう考えたらよいかの指針を生徒指導部の教員が説明する ○ 特に賠償問題などを取り上げ、事故の恐ろしさの理解と同時に、事後の大変さも理解させる ○ 一方的な説明にならないように、生徒主体での思考が出来るよう方向性を持つ 			

交通安全教育報告書

取組名	交通安全講話	分類	交通安全講話
取組の特徴	外部講師を招いての講話		
学校名	藤蔭高等学校		

取組の概要

1. 日時

4月24日（水） 13:40～14:00

2. 目的

身の回りにおける危険から生命を守ることの大切さを知り、日常生活の中の安全について考える。

3. 講師

大分県日田警察署 交通課 免許規制企画係長
警部補 細谷 賢司 氏

4. 講話内容

- 道路交通法の改定の内容
- 原付自転車・自転車事故の事例
- 事故防止のために必要な注意
- 原付自転車・自転車の乗車マナーについて

5. 実施後の状況

安全意識や危機回避意識を高めることができ、登下校時の乗車マナー違反も見られなかった。今後も定期的実施する予定。

